

## ひろしま木育アカデミー2023 第5回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第5回木材の利用編を9月9日(土)に川地コミュニティセンターにて開催しました。

午前は、はじめに「広島県の木材産業」について広島県林業課県産材利用促進グループの武田剛様にお話しいただきました。広島県の木材産業の現状とそれらに対する県の取り組みとして、製材工場の整備、住宅および非住宅への利用推進、広葉樹の活用などについてご紹介いただきました。次に、「原木から材料そして製品になるまで」について一場よりお話ししました。丸太の入所から製材、乾燥、木取り、プレーナー加工、形状加工(機械、手)、磨き加工、仕上げ加工の各工程について、実際に使用されている機器やポイントなどを含めて解説しました。私自身、流通していない材料の入手の大変さを知る機会となりました。最後に「なぜ乾燥するの?」について木村からお話ししました。木材に含まれる水として含水率、自由水と結合水とその変化などについて、また木材を乾燥して製品に使う理由として、変形や割れを防ぐ(寸法安定性の向上)、腐らないようにする、強度への影響について解説しました。木材を扱う上で必ず知っていないといけない知識ではあるのですが・・・、どうすれば分かりやすく解説できるのだろうと思案中です。

午後は、「工場を見学しよう」として、歩いて5分の(有)一場木工所に移動し、午前中に解説した工程で使用されている機器を工程順に見学しました。バンドソー(帯のこ盤)や超仕上げかんな盤などといったホームセンターでは見ることができない木材加工用機器の実際に動いているところを見ることができました。また、一場木工所で販売している製品の製作と木工機器を使用しての加工の体験を行いました。最後の「今日の内容を振り返ろう」では、今日行ったこと、今日の活動を通して分かったこと、次にやってみたいことを挙げ、グループ内で共有しました。



5回目の木材の利用編は、原料である丸太が材料となり、さらに製品、今回の場合はおもちゃになるまでの工程を知って欲しいと考え、企画しました。ひろしま木育アカデミーは基本的に休日での開催となることから、稼働している製材所を見学することができない現状にあります。その中で、より良いセミナーを実施するためにはどうするか、引き続き考えていきたいと思えます。

(文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝)